

○示範授業 3年 算数『足し算とひき算の筆算』 泊



先日は、お忙しい中、示範授業・討議会の参加ありがとうございました。

1. 単元のねらいと「主体性」を育む工夫

・自分でテストを通して分析を行い、取り組む内容を考える・環境設定の工夫（学ぶ相手・学ぶ場所）

2. 本時の展開と子どもの姿

『一斉授業⇒小テスト⇒分析⇒自己調整・練習⇒プレテスト⇒自己調整・練習⇒テスト』の流れで授業を設計しました。子どもたちは、それぞれがプリントを選び取り組んでいました。また、自分で一緒に学ぶ相手や場所を考えて学習に臨んでいました。友だちに教えてもらう様子も見られました。

授業の終わりには、スプレッドシートを使って、ふりかえりを行いました。

3. 研究討議から見えた「今後の問いと課題」

子どもたちが「自分で選び、自分で進める学び」が少しずつできるようになってきていることが見えてきた。一方で、その学びをさらに深めていくために、いくつかの問いや課題も明らかになった。まず大きな問いとして、「子どもが自分で学びを調整できるようになるために、教師はどのような支援や環境づくりを行えばよいのか」

ふりかえりについては、「文章題をがんばる」と書いていても実際の行動につながっていない姿も見られた。対話については、分からないことを聞き合う姿は見られたものの、計算中心の課題では対話が生まれにくい場面もあった。

○今回の授業を通して、主体的な学習者の育成のためには、教師の手立てや様々な工夫、かなりの時間が必要だなと感じました。授業や討議会で感じたことをそれぞれの取組みに生かしてもらえると、水桜学園の子どもたちの成長につながると思います。

どのように授業を作っていくのか、一緒に考えられたらと思います。